

5 海女のまつり

信心深い海女たちは、むかしから受け継いできたお祭りをいまでも守り伝え、神への感謝と祈りを捧げています。



志摩の海女たちは感謝の気持ちをこめて伊勢神宮へアワビの奉納を行っています。



しろんご祭り

菅島
(鳥羽市)
7月11日

鳥羽市の菅島^{すがしま}で例年7月11日に行われます。シロンゴとは白髭の意味で、島の守護神である白髭大明神、竜神大明神のこと。700年ほどの昔、菅島に現れた白蛇を竜神の使いだと崇め、大漁と海上安全を祈念したのが始まりだわれています。

朝8時頃、しろんご浜に磯着姿の島の海女が集まり、おはらいを受けたあと、ほら貝を合図に、一斉に普段は禁猟区のしろんご浜に潜り、アワビをとります。雌雄一対のアワビを目指して競い、最初にとれた雌雄のアワビは「まねきアワビ」と言われ、白髭神社に奉納されます。まねきアワビをとった海女は、1年間、海女頭として尊敬されます。

鳥羽市石鏡^{いじか}の海女が、八大竜神様へその年の漁始めに行う、操業安全と大漁を祈願するお祭りです。浜に竜神様の掛け軸を飾り、お餅を供えて祈ります。毎年2月16日に行われています。

かづ お
潜き下り
石鏡
(鳥羽市)
2月16日



相差^{おうさつ}の氏神である神明神社の参道に祀られた石神さんは女神とされ、女性の願いごとなら必ずひとつは叶えてくれるといえます。春祭りの5月7日は海女は休漁。大漁祈願と大願成就を願い、この日だけは男衆料理で男性が女性をもてなします。

いしがみ
石神さん
相差
(鳥羽市)
5月7日

こずくみ
小築海さん
小築海島
(鳥羽市)
7月11日

鳥羽市の答志島の東に小築海島という小さな島があります。むかしから良質のアワビの漁場になっていましたが、資源を守るために1年に1回、しかも3時間だけ漁が許されます。7月11日の昼頃、漁に出ていた海女たちを乗せた小型漁船が一斉に港に戻り、このあととったアワビとともに、島から持ち帰った桑やススキの葉を、答志島の八幡神社へお供えし、海上安全と大漁祈願をします。

